

令和2年9月18日
環境政策部
環境保全課

令和元年度大気汚染状況の測定結果について

世田谷区では区内の大気環境を把握するため、大気汚染常時測定室を設置し、常時測定を行っている。

また、東京都は都内の状況を把握するため、区内においては、住宅地域等に設置した一般環境大気測定局と幹線道路沿いに設置した自動車排出ガス測定局で、常時測定を行っている。

このたび、令和元年度の測定結果がまとまったので、東京都の測定結果と併せて下記のとおり報告する。

記

1 測定場所

(1) 世田谷区設置

砧、玉川、烏山総合測定室

(2) 東京都設置

一般環境大気測定局：世田谷、成城測定局

自動車排出ガス測定局：八幡山測定局

2 測定項目

二酸化硫黄、一酸化炭素、浮遊粒子状物質、二酸化窒素、光化学オキシダント、微小粒子状物質（PM2.5）

3 測定結果

光化学オキシダント以外は環境基準を達成しています。

詳しい測定結果は裏面のとおり

4 区民への周知

測定結果については、10月15日号の区のおしらせ「せたがや」及び区ホームページに掲載する予定である。

令和元年度 世田谷区・東京都大気汚染常時測定室(局)の測定結果

項目 測定室(局)	二酸化硫黄(SO ₂)			一酸化炭素(CO)			浮遊粒子状物質(SPM)			二酸化窒素(NO ₂)			光化学オキシダント(O _x)			微小粒子状物質(PM2.5)				
	環境基準達成状況	2%除外値(ppm)	年平均値(ppm)	環境基準達成状況	2%除外値(ppm)	年平均値(ppm)	環境基準達成状況	2%除外値(mg/m ³)	年平均値(mg/m ³)	環境基準達成状況	98%値(ppm)	年平均値(ppm)	環境基準達成状況	1時間値超過時間数	1時間値の最高値(ppm)	年平均値(ppm)	環境基準達成状況	98%値(μg/m ³)	年平均値(μg/m ³)	
世田谷区	砧		0.003	0.001		0.5	0.2		0.031	0.013		0.029	0.013	×	320	0.150	0.032			
	玉川		0.003	0.001					0.041	0.015		0.034	0.015	×	468	0.161	0.033			
	烏山								0.036	0.012		0.033	0.015	×	454	0.155	0.035			
東京都	世田谷		0.003	0.001		0.5	0.2		0.040	0.016		0.031	0.013	×	397	0.244	0.034		22.7	10.5
	成城								0.039	0.015		0.028	0.013						23.1	11.1
	八幡山								0.041	0.016		0.038	0.021						22.3	10.4
環境基準	0.04ppm(2%除外値)			10ppm(2%除外値)			0.10mg/m ³ (2%除外値)			0.06ppm(98%値)			0.06ppm(1時間値)			35μg/m ³ (98%値)かつ 15μg/m ³ (年平均値)				

注1 ○は環境基準達成。 ×は非達成。 は測定していない。

注2 環境基準とは、環境基本法第16条に基づき定められたもので、人の健康を保護し、生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準である。

注3 2%除外値とは、年間の1日平均値のうち、高い方から2%の範囲にあるもの(365日分の測定値がある場合は高い7日分の測定値)を除外した後の最高値であり、98%値とは、年間の1日平均値のうち低い方から98%に相当するものの値である。

注4 測定室(局)の所在地は以下の通りである。

砧総合測定室 : 成城6丁目事務所棟5階 (成城6-3-10)

世田谷測定局 : 世田谷区役所 (世田谷4-21-27)

玉川総合測定室 : 玉川総合支所[仮設庁舎]分庁舎2階 (等々力4-19-18)

成城測定局 : 都立総合工科高等学校 (成城9-25-1)

烏山総合測定室 : 烏山総合支所屋上 (南烏山6-22-14)

八幡山測定局 : 都営八幡山アパート (粕谷2-19)

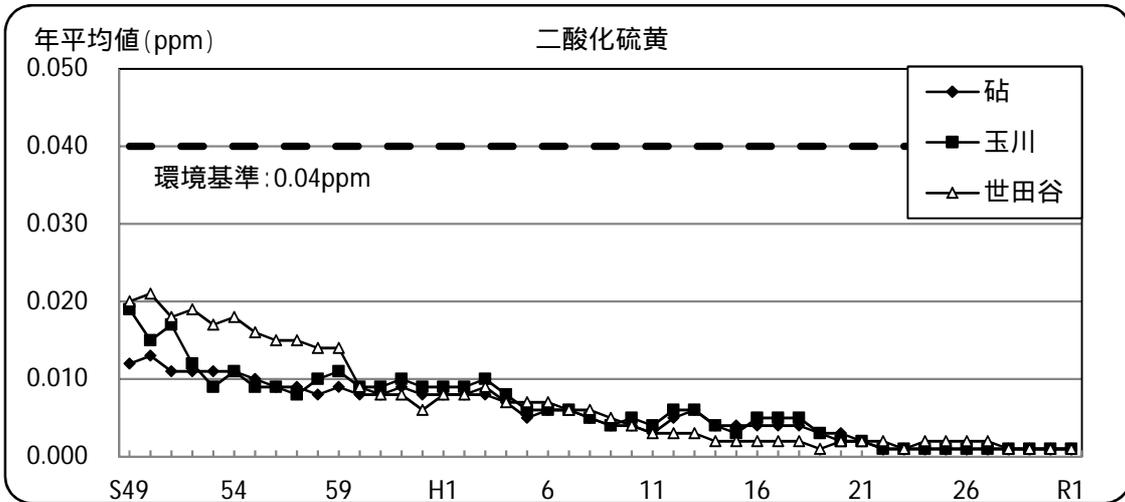
注5 玉川総合測定室は、平成29年2月に玉川総合支所屋上から、玉川総合支所[仮設庁舎]分庁舎2階へ移設。

注6 上馬測定局は、平成28年12月より上馬まちづくりセンター移転に伴い測定休止。

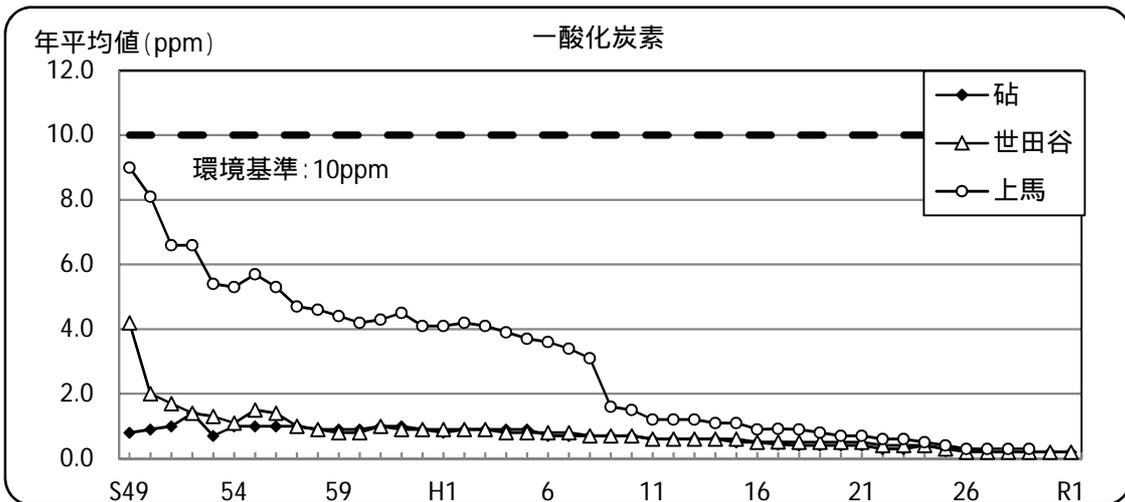
< 参 考 >

大気汚染状況の経年変化について

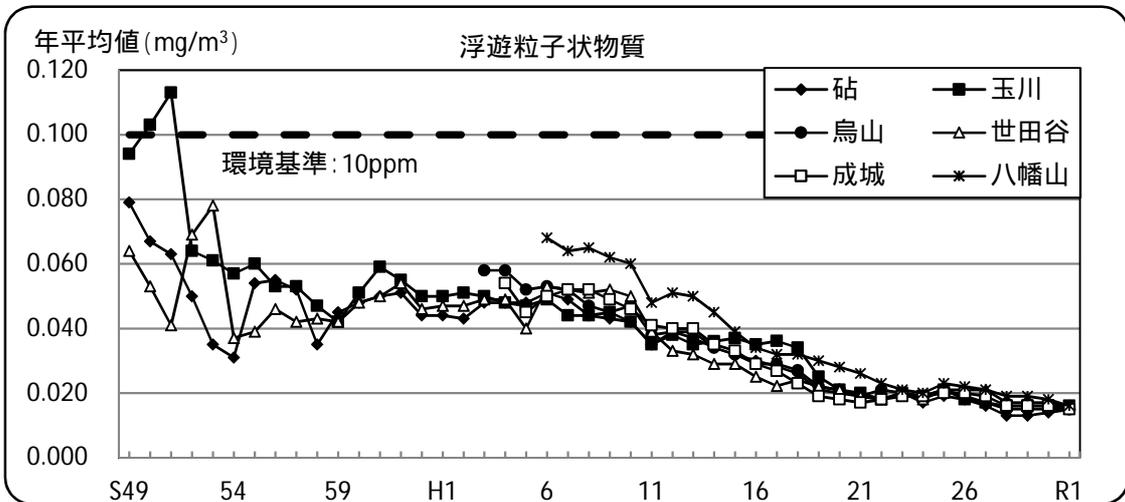
1 二酸化硫黄 (S O₂)



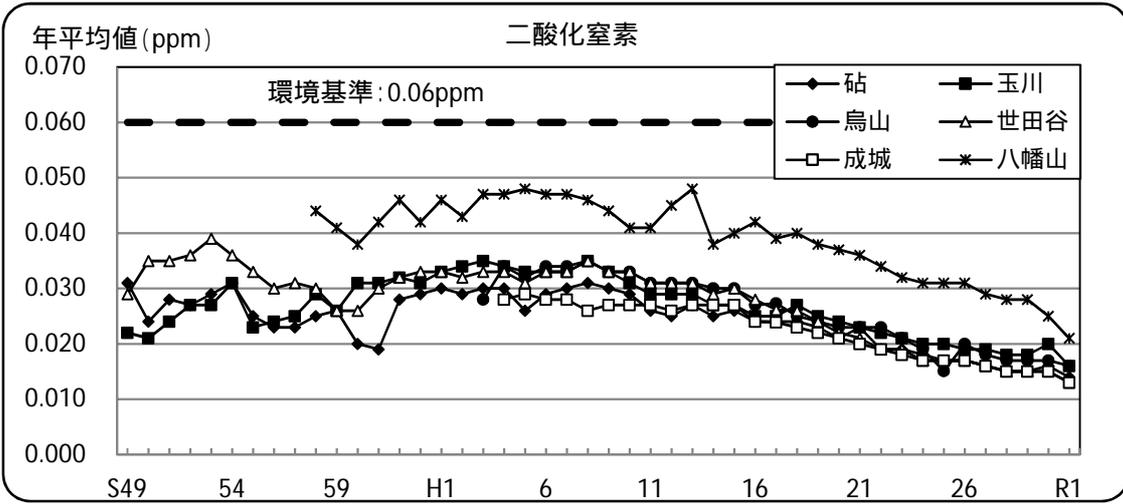
2 一酸化炭素 (C O)



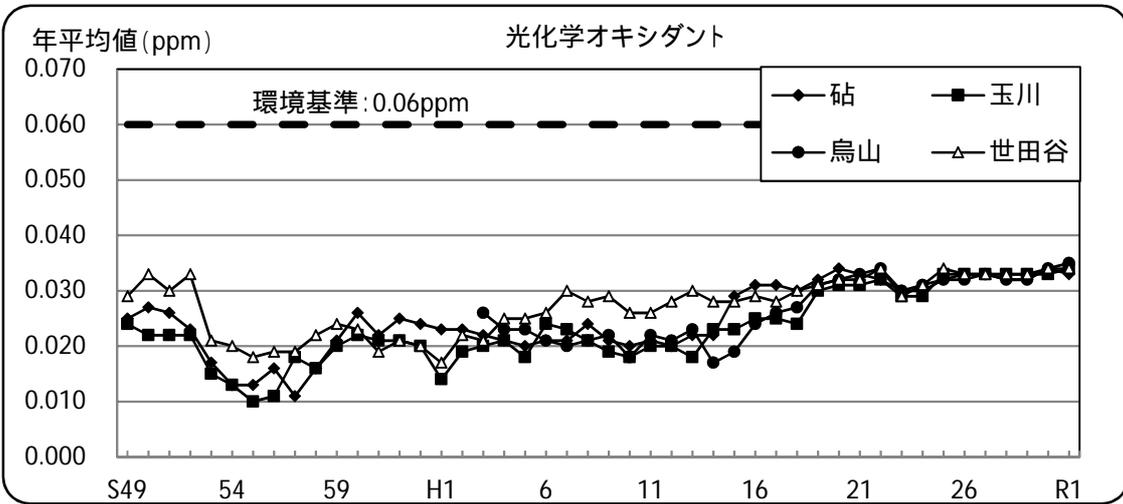
3 浮遊粒子状物質 (S P M)



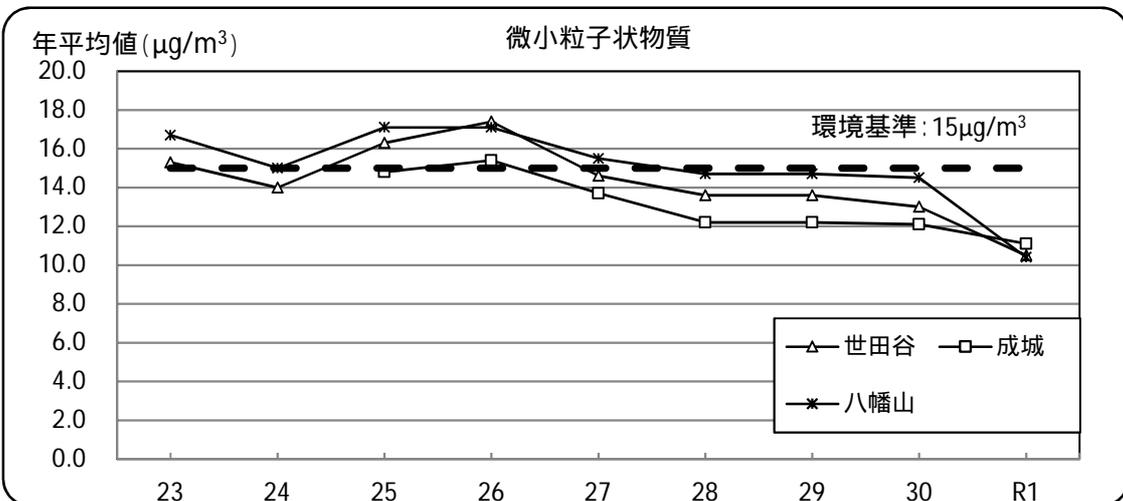
4 二酸化窒素 (NO₂)



5 光化学オキシダント (O_x)



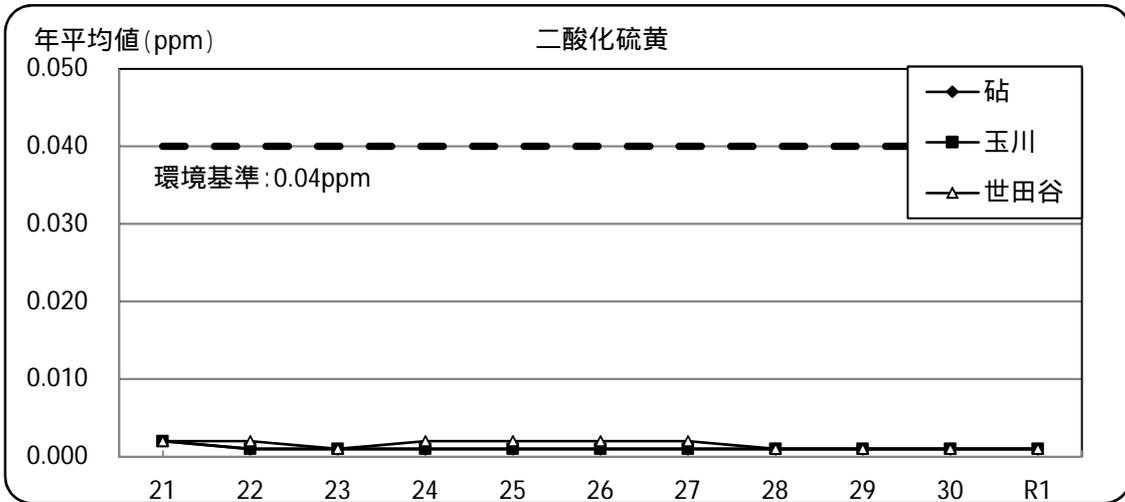
6 微小粒子状物質 (PM_{2.5})



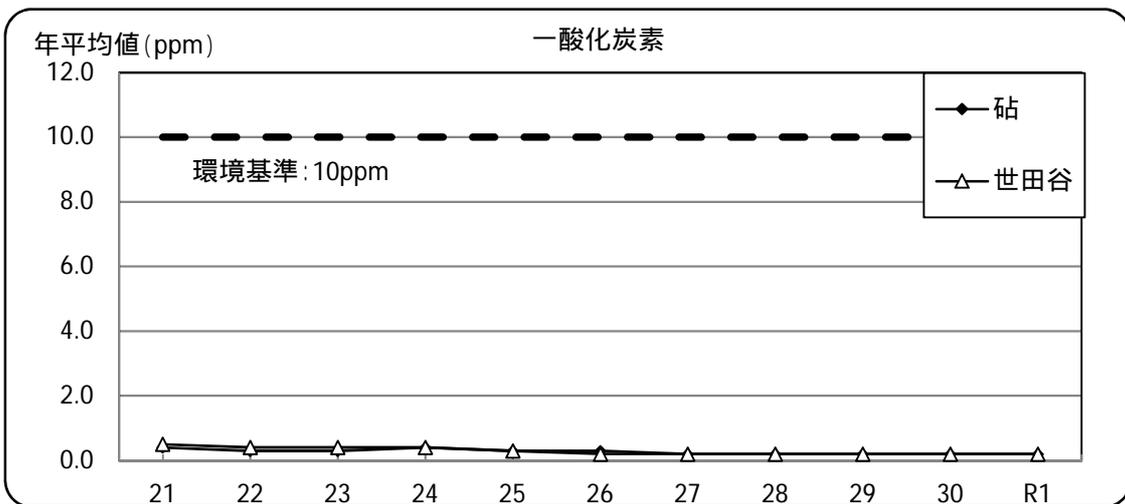
< 参 考 >

大気汚染状況の経年変化について（直近 10 年）

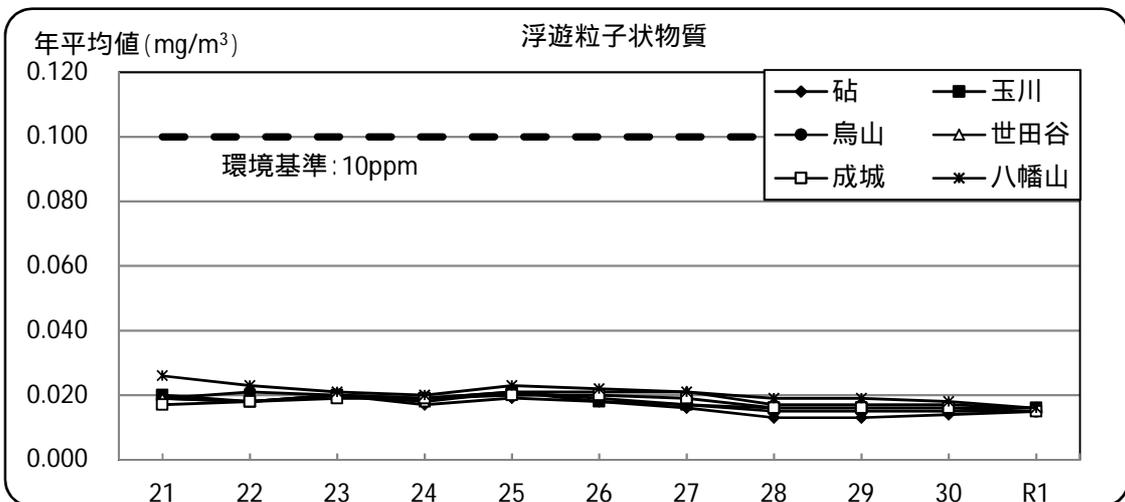
1 二酸化硫黄（ SO_2 ）



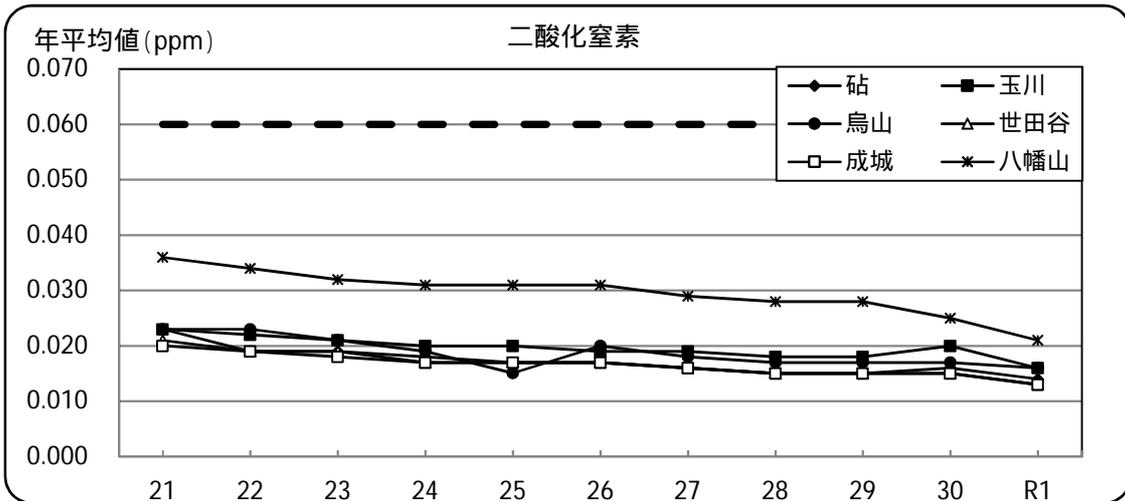
2 一酸化炭素（CO）



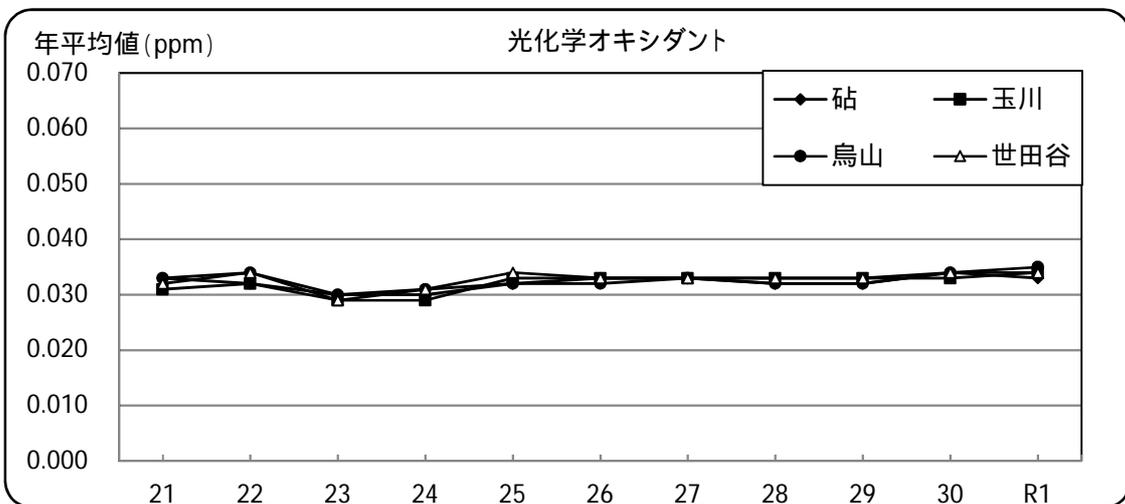
3 浮遊粒子状物質（SPM）



4 二酸化窒素 (NO₂)



5 光化学オキシダント (O_x)



オキシダントの環境基準は他の大気汚染物質と異なり、平均値ではなく、最大値が基準となっています。1日の中で 0.06ppm を超過した場合、環境基準超過となります。

6 微小粒子状物質 (PM_{2.5})

